

平成 23 年度  
事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日  
至 平成 24 年 3 月 31 日

(平成 23 年)



社団法人 日本ねじ工業協会

# 目次

第1章 平成23年 ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
I 委員会事業	2
1. 政策委員会事業	2
(1) 災害対応作業	2
(2) 委員会・部会活動強化への諮問	2
(3) 会員増強の推進	2
(4) 決算・予算報告への諮問	2
(5) その他	2
2. 未来開発・パブリシティ委員会事業	2
(1) 本委員会事業の常設化	3
(2) 平成23年度事業について	3
(3) これまでの課題の整理について	3
(4) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業	4
(5) 具体的な実施計画案の検討及び課題別の推進体制の構築	4
3. 資格委員会	5
(1) 資格制度創設に向けた基本構想策定	5
(2) テキストの修正・拡充に関する作業	6
(3) ねじ技能検定制度創設に向けた講習会及び検定試験の実施	6
(4) 職業能力評価基準の策定	7
(5) 平成24年度 本委員会の事業計画案の策定	7
(6) その他、資格制度に関する事業	7
4. 技術委員会事業	8
(1) 技術講習会及び工場見学会の開催	8
(2) ねじに関する安全啓発事業	8
(3) 圧造技術スクールの開催（(株)旭サナックと共催）	8
(4) JIS/ISOに関する事業（ねじ研究協会との連携）	8
(5) サポートインダストリー振興事業	8
(6) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業	8
(7) ねじ入門書の頒布、JISハンドブックの斡旋	8
(8) 技術振興事業に関するアンケートの実施	8
(9) 平成24年度 本委員会の事業計画案の策定	8
(10) その他、技術振興事業	8

5. 国際委員会事業	10
(1) 2011年五地域ねじ協会交流大会への参加	10
(2) 2012年五地域ねじ協会交流大会（於 東京）の企画検討	10
(3) 韓国 Fastener 工業協同組合との MOU 締結	10
(4) 自由貿易協定に関する情報収集	10
(5) 海外ねじ関連企業工場見学	10
(6) 海外展示会への観覧参加	10
(7) 中国経済及びねじ市場動向講演会（ステンレスねじ部会）	10
(8) 原産地規則に係わる情報の収集提供	10
(9) 国際関連情報の情報収集提供	10
(10) その他、国際協調・競争力強化関係事業	10
6. 労務委員会事業	11
(1) 会員企業の労務に関する調査	11
(2) 「改訂 中小企業のための賃金・労務ガイドブック 2012年版」頒布協力	11
(3) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供	11
II 部会事業	12
III 組織強化事業	13
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進	13
(2) 公益法人関連法及び制度改正への対応	13
(3) 諸規程整備準備	13
(4) 政府経済対策等への対応	13
(5) 取引の適正化に係わる事業	13
(6) 日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化	13
(7) その他	13
第3章 総会、理事会、懇談会・懇親会等	14
1. 総会、理事会	14
(1) 総会	14
(2) 理事会	14
2. 懇談会・懇親会等	15
3. ねじ商工連盟総会	16
平成23年度会員数推移	17
【参考1】第51回通常総会議事録	18

## 第1章 平成23年ねじの生産・輸出入状況

(1) 生産 (出所：当協会推計)

重量：276万トン (対前年比 3.6%減)

金額：7,976億円 (対前年比 1.4%減)

数量・金額とも減少。(東日本大震災の影響)

(過去最高-H19：数量(334万トン)・H19：金額(9,005億円))

(参考-H22：数量287万トン(対H21年比29.0%増)

金額8,088億円(対H21年比28.8%増))

(2) 輸入 (出所：財務省貿易統計)

重量：21.8万トン (対前年比 10.8%増)

金額：640億円 (対前年比 11.8%増)

数量・金額とも大幅増加。数量では過去最高。

(過去最高-H23：数量(21.8万トン)・H19：金額(864億円))

(主要輸入先国：中国、台湾、米国(数量3位：韓国))

(3) 輸出 (出所：財務省貿易統計)

重量：30.5万トン (対前年比 1.8%減)

金額：2,319億円 (対前年比 1.6%減)

数量・金額とも微減。

(過去最高-S52：数量(38.1万トン)・H19：金額(2,382億円))

(主要仕向地：中国、米国、タイ)

(参考) 需要業界生産動向 (出所：機械統計)

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
22年	963	168,286	9,185	23,957	31	8,341
23年	840	145,776	8,579	15,711	44	11,729
前年比	87.2%	86.6%	93.4%	65.6%	141.9%	140.6%

## 第2章 事業活動

### I 委員会事業

#### 1. 政策委員会事業

##### (1) 災害対応作業

###### ① 東日本大震災に係わる作業

- 被災県に事業所を持つ会員に対する被害状況調べ及び経済産業省への報告  
(電話による聞き取り調査及びアンケート方式による調査実施)
- 政府(緊急)情報等諸連絡
- 台湾区螺絲工業同業公会からの義援金に関する対応(作業)
  - ・義援金の受贈  
台湾区螺絲工業同業公會 陳明昭 理事長が来日して竹中弘忠会長が直接受贈(於:4月理事会(大阪))。またこの受贈に関して報道各社へ連絡して、報道各社がこの受贈内容を直接取材。
  - ・義援金の配布方法検討  
被災地3県(福島県・宮城県・岩手県)への配布決定  
被害状況アンケートの結果による被害を受けた会員8社への配布決定
  - ・義援金贈呈  
被災地3県(福島県・宮城県・岩手県)への直接贈呈  
(竹中弘忠会長が岩手県庁・宮城県庁(6/29)、福島県庁(6/30)へ訪庁して直接贈呈)
  - ・義援金受贈に対する対応  
会報へのお見舞い掲載  
台湾ねじ関係雑誌並びに同業公会会員名簿にお礼(広告)掲載  
台湾区螺絲工業同業公會へのお礼訪問(田島祥一副会長(於:ステンレスねじ部会))  
台湾区螺絲工業同業公會に対する被災県知事からの感謝状の直接贈呈(竹中弘忠会長)  
(於:台湾国際ファスニング見本市歓迎パーティ)
- タイにおける洪水に係わる会員被害状況調べ
- 近畿地方の台風等 その他災害に対する対応(会員被害状況調べ等)

##### (2) 委員会・部会活動強化への諮問

- 6委員会 政策委員会、未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、労務委員会
- 7部会 ソケットスクリー部会、小ねじ部会、特殊品ねじ部会、ステンレスねじ部会、建築用ねじ部会、ボルト部会、ナット部会

##### (3) 会員増強の推進

##### (4) 決算・予算報告への諮問

##### (5) その他

#### 2. 未来開発・パブリシティ委員会事業

ITを活用した内外ネットワークの構築による、ねじ産業の活性化及び社会的な認知度向上を目指すと共に、ねじ産業従事者の意識UPのための事業を推進。そのために、以下のとおり内部向けのパブリシティ(広報)担当グループ及び外部向けのパブリシティ(広報)担当グループに分かれて、それぞれの課題への対策(取組み)について検討すると共に、(内外)パブリシティ(広報)コンテンツを検討するなどの事業を推進。その他にも昨年まで調査広報委員会が担当していた会報発行、各種統計調査等も継続実施。

(1) 本委員会事業の常設化

当協会がここ数年、継続的に実施してきた「ねじ産業未来開発プロジェクト推進（委員会）事業」の成果を踏まえ、平成 23 年度は、この事業の内容を広く内外に知っていただくことが重要であり、かつその時期に来たとの判断により、本事業を「未来開発・パブリシティ委員会」として新委員会として取組む事となった。

(2) 平成 23 年度事業について

- ① 実際の IT を活用した内外ネットワークの構築（トライアル実施）について
  - 委員による facebook のトライアルを開始及び活用促進（双方向ネットワークトライアル）
  - 当委員会ニュースや協会の事業活動報告等について、ブログ・メルマガを活用した（内部向け）情報発信の開始
- ② 内部向けのパブリシティ（広報）事業
  - 「海外動向」（海外進出や海外競合企業の動向）の情報収集と記事化の検討
  - 「中小企業施策・補助金」に関わる記事化と情報発信の推進
  - 会報記事の IT 化を検討
  - その他 内部向けコンテンツ（業界情報の発信）の検討・整備
    - ・各種統計整備については、重要なテーマなので来年度本件検討専門委員会設置を検討
    - ・ユーザーニーズ情報の収集について方法論等を検討
    - ・資格制度（ねじ製造技能検定創設に向けた事業）の広報並びに活用方法の検討
    - ・その他関心の高いテーマの検討
- ③ 外部向けのパブリシティ（広報）事業
  - 外部向けコンテンツの検討
  - 協会ホームページの拡充の検討
    - ・海外からのアクセス増加策の検討
    - ・協会ホームページの英語版の作成
  - 現行ホームページの翻訳並びに会員情報の英訳に関する会員調査を実施
  - ねじに関する安全啓発等 関心の高いテーマの記事化と情報発信

(3) これまでの課題の整理について

本年度のこれまでの検討を踏まえた検討課題（の整理）は以下のとおりである。

- ①（広報、情報発信する）記事化の推進体制の構築が必要である
  - 「欲しい記事（テーマ）」は多いが、記事（情報）を広く集めるためのスキームが不十分である
  - 「自ら発信者になる」「専門家や情報発信源の力を借りる」などテーマごとに（広報、情報発信する）記事化推進体制の構築が必要である
- ② 会報「ねじ」の IT 化、読者層の拡大について、本格移行への道筋を構築する必要がある
- ③ これまでのトライアルブログ、メルマガを本格運用にするための編集方針（ターゲット（読者）及びコンテンツ）の明確化が必要である
  - 想定するターゲット（読者）は「ねじ業界及び近しい業際関係者」としたい
  - これまでの「内部向けの広報」「外部向けの広報」を統合し、当面、「ねじ業界及び近しい業際関係者」をターゲット（読者）と想定した記事作成・情報発信を推進して実績を積みたい
  - メルマガの読者拡大、登録者促進策の立案・実施が必要である
- ④ 協会ホームページの拡充が必要である
  - 海外向けの情報発信の第 1 弾として英語版 HP を作成する
  - ブログ・メルマガと連携したページを作成することにする
  - 拡充の基本的な考え方は以下のとおり
    - ・ ブログ中心の運営とする → 双方向コミュニケーションを図る
    - ・ HP はブログの入り口と考える → HP はカテゴリー別にまとめられたブログと考える
    - ・ ブログ・HP を盛り上げるのはメルマガである
      - メルマガはタイトルとさわりだけ紹介し詳しくは HP の閲覧へと導くようにする

- ⑤ 協会全体として発信力を高める活動の促進が必要である
- 様々な活動は広報（情報発信）によって周知され、その結果業界の協力者を得ることとなる。業界内、業際関係者との関係づくりを目的として「誰もが本委員会委員」として発信していくような風土づくりを目指したい
  - 先ずは、委員会や部会の発信力を高めるため、本委員会委員が協会の委員会・部会を支援する。更に、協会の委員会委員・部会員の中に本委員会委員となっていたりの方を育成したい

(4) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業

- 会報「ねじ」の発行（年間4回）
  - ・対談トップに聞く（インタビュー：椿省一郎副会長）

掲載号	対談者（対談場所）
平成23年11月号	・平田ネジ(株) 代表取締役社長 平田 政弘 氏 (於：八尾工場)
同 23年4月号	・(株)杉浦製作所 代表取締役社長 杉浦 明博 氏 (於：古居工場)

- 協会ホームページの更新  
(会員名簿／協会からのお知らせ／会員専用ページ／官公庁からの通達用 他の更新)
- 生産統計の作成（メールを活用した収集）
- 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成
- 「ねじの日」記念事業
  - ・ねじ関係報道各社(3紙・誌)へのねじの日及び当協会PR広告掲載
  - ・「ボルト型ボトル」(平成18年度ねじの日記念として作成)の通年頒布  
(必要に応じ何時でも申し込める)
  - ・ねじの日記念「ノギスペン」(日本ねじ商業協同組合連合会 企画・販売)の頒布斡旋  
(H24.6.1ねじの日記念事業)
- ねじ業界関連情報の収集提供  
需要動向(機械工業生産額見通し((社)日本機械工業連合会調査)、  
中小企業景況調査報告(中小企業基盤整備機構調査))等の情報提供
- 経済産業省、全国中小企業団体中央会などからの調査依頼への協力及び会員への情報提供  
(メールを活用した会員への情報提供)
- TV局、報道各紙・誌などからのねじ・当協会に関する取材・問合せへの対応
- その他
  - ・その他 会員並びに業界関連情報の関係調査及び情報収集提供
  - ・その他 協会・会員並びに業界関係情報の広報関係事業

(5) 具体的な実施計画案の検討及び課題別の推進体制の構築

- ① 検討段階から具体的な実施段階へと進むために、これまでの検討結果で明らかになった課題について、それぞれを担当する以下の課題別担当グループを決定(組織化)
- ② 平成24年度 本委員会の事業計画案の策定
  - 広報手段としてのIT化を推進(会報のIT化等)
  - 「会員の手による広報」の実現のための編集方針の明確化と体制づくり
  - 当協会推進事業に関する広報活動

<課題別担当グループ> (以下 11 課題別担当グループ)

課題	担当(◎印はリーダー)	内容
Facebook 担当	◎西川倫史委員	・委員における Facebook の活用方法などの提案 ・グループ登録管理
「統計委員会」設立準備担当	田島祥一委員長 椿省一郎アドバイザー	・「統計委員会」来期立上に向けた準備 ・改めて日本工業統計のねじ基礎データの収集を図る ・統計データベースのホームページ掲載
資格制度委員会支援担当	◎安藤秀文委員 藤田守彦副委員長 中江良一委員 西川倫史委員	・資格委員会の活動についての広報支援 ・資格委員会の具体的な課題についても分担の調整をする
会報「ねじ」の IT 化検討担当	◎長島武委員 東京:柿澤宏一委員 田坂智委員 奥山一郎委員 名古屋:瀧篤人委員 大阪:後藤晴雄委員 池田栄治委員 北井敬人委員	・費用削減を狙いとした収束のさせ方研究 (正副会長の合意、理事会提案) ・会報企画「トップに聞く」記事の引継ぎ体制構築検討 ・HP 英語版・アーカイブ化の検討 ・掲載広告の今後の扱い方 →メルマガ、ブログへの有料掲載
メルマガ・ブログ編集方針担当	◎田島祥一委員長 勝亦良彰副委員長 藤田守彦副委員長	・メルマガ、ブログ編集方針の作成・本格運用への移行推進
メルマガ読者登録推進担当	◎堤親朗委員 一柳達朗委員 川端康弘委員 松宮栄治委員 矢野佳彦委員	・メルマガ読者拡大方針、拡大策の立案・実施
海外情報の記事化担当	◎長谷川裕恭委員 相澤正己アドバイザー 大川克良アドバイザー 高須俊行委員 渡邊義昭委員 打本照治委員 望月紀人委員	・海外進出、海外競合企業の情報収集・記事化促進
中小企業施策記事化担当	◎荻上和彦事務局 高橋寛美委員	・中小企業施策関係の記事化促進
「委員会・部会の動き」記事推進担当	◎平戸眞澄委員 荻上和彦事務局	・委員会、部会の動向に関わる情報の収集と配信の促進
HP 英語版監修担当	◎北井敬人委員	・HP、会報企画「トップに聞く」アーカイブ等の英語版監修
HP 改修担当	◎樋口 隆洋委員 勝亦良彰副委員長 川端康弘委員	・会報の IT 化、ブログ、メルマガとの連携等 HP の改修

### 3. 資格委員会

昨年度実施した、ねじ製造技能検定創設に向けた事業を国家検定への次の段階に進めるために以下の事業を推進。

#### (1) 資格制度創設に向けた基本構想策定

- 技能検定創設に向けた基本構想及び導入戦略の検討
- 技能検定創設に向け工程表の作成
- 技能検定創設に向けた事業予算案の算出 (確保)
- 運営組織 (体制) の整備 (資格委員会に 2 つの分科会を設置)
  - ◎ ねじ製造技能検定運営委員会 (運営委員会に 3 つの部会を設置)
    - ・総務部会
    - ・学科試験部会
    - ・実技試験部会
  - ◎ 職業能力評価基準策定委員会
- 基本構想 (上記 全て) の決定 (「ねじ資格制度創設・導入基本構想書」策定) と公表



※ 実際に事業を推進する中で、別途体制が必要となったため新たに以下の2つを組織化

・検定委員会

学科試験部会、実技試験部会による、ねじ製造技能検定（協会認定）の実施に向けた取組みについて検討をしていく中で、実際にねじ製造技能検定（協会認定）を運営する組織が必要となったため、上記組織とは別に「検定委員会」を設置

・講習会講師

技能検定創設にむけた講習会を実施する中で、講習会の講師（技能検定の公正な実施という観点で、ねじ製造技能検定（協会認定）の実際の運営に携わる事が出来ない）の方々を、上記とは別に「講習会講師」として新たに組織化

(2) テキストの修正・拡充に関する作業

○ テキストの著作権に関する作業

- ・テキストの科目別の引用文献及び引用文献先の特定・確認作業
- ・科目別に執筆者及び引用文献先への著作権放棄・使用許諾に関する作業
- ・テキストに関する著作権等の覚書締結に関する作業

○ 著作権許諾確認作業に伴うテキストの修正及び校正・製本（科目単位）

○ テキストの拡充に関する検討・作業

(3) ねじ技能検定制度創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の実施

○ ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の実施

昨年同様、関東、中部、関西で講習会を開催（全国中小企業団体中央会の補助金活用）

関東 H23. 10. 11～12 於:東京 機械振興会館 参加者:68名

中部 H23. 10. 19～20 於:名古屋 愛知県産業労働センター 参加者:53名

関西 H23. 11. 24～25 於:大阪 天満研修センター 参加者:102名

(対象：当協会会員、教材費：4,000円)

<講習会カリキュラム>

	時間割	科目	講師
1 日 目	10:00～11:20	ねじの基礎	(社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯義和 氏
	休憩		
	11:30～12:50	ねじ用材料とその熱処理	大阪精工(株) 常務取締役 森川勉 氏
	休憩		
	13:40～14:50	品質管理と検査・試験及び図面標記	(株)フセラシ 主幹 吉岡正澄 氏
	休憩		
	15:00～15:50	表面処理	日本表面化学(株) 常務取締役 名古屋支店長 山室正明 氏
	休憩		
16:00～16:30	圧造油	スギムラ化学工業(株)研究所 引抜・圧造油チームリーダー 山口直樹 氏	
16:30～17:00	安全衛生	日産ネジ(株) 技術課主任 土居貴志 氏	

	時間割	科目	講師
2 日 目	9:00～10:50	ボルト鍛造設備及び電気	(株)エーオー 取締役サービス技術部長 松浦富康 氏
	休憩		
	11:00～11:50	転造盤	(株)三明製作所 取締役営業部長 谷口正樹 氏
	休憩		
	12:50～14:50	ナット生産設備	(株)阪村機械製作所 技術部課長 遠藤信幸 氏
	休憩		
15:00～15:50	付帯設備	東京タッピングマシン(株) 大阪営業所長 大崎慎梧 氏 (株)野村工具製作所 製造部次長 林達志 氏	
休憩			
16:00～17:00	効果測定試験	-	

- ねじ製造技能検定（協会認定）の実施に向けた取組み
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）の受検資格・作業名等の基本事項の検討・決定  
（本年度は2級のみ、作業名は ボルトフォーマー、ナットフォーマー、ローリング、タッピング など）
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）実施に向けた本年度活動計画の検討・決定
  - ・学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の検討・決定
  - ・学科試験問題の検討・決定・試験問題作成
  - ・実技試験（作業試験・要素試験）内容（問題）／試験方法の検討・決定、試験問題作成
  - ・実技試験の作業試験に対するチェック項目の検討・決定・チェックシート作成
  - ・職業能力評価基準との求められる技能等の内容及びレベル合わせ
  - ・実技試験の作業試験に対する検定委員のレベル合わせ・向上  
（模擬実技試験の実施（2回）、3地域毎の検定委員会開催）
  - ・関東・中部・関西同日（同時間）実施体制の構築  
（検定委員間の連絡体制構築、検定委員及び事務局の関東、中部、関西担当分けなど）
  - ・作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要なもの（備品含む）の準備
- ねじ製造技能検定（協会認定）の実施
  - ・関東、中部、関西の3地域同日同時間によるねじ製造技能検定（協会認定）実施  

試験日：H24. 2. 22	関東-於：東 京 機械振興会館	受検者：8 名
	中部-於：名古屋 愛知県産業労働センター	受検者：13 名
	関西-於：大 阪 天満研修センター	受検者：12 名
  - （対象：当協会会員、学科試験：会員価格 5,000 円、実技試験：会員価格 10,000 円）
  - 受検カリキュラム
    - 9:30 受付開始
    - 10:00 受付完了
    - 10:15 着席完了
    - 10:30 学科試験開始（60分）
    - 11:30 学科試験終了  
（昼食）
    - 12:30 着席完了
    - 12:45 実技試験 要素試験（60分）  
（途中作業試験と要素試験の入換え時間あり）
    - 14:10 実技試験 作業試験（60分）
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）の採点／合否判定  
受検者33名中、合格者12名、一部合格者 学科試験5名、実技試験5名
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）の合格者受験番号を協会ホームページで公表
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）合格証、一部合格証送付
- (4) 職業能力評価基準の策定
  - ねじ製造業の職業能力評価基準策定事業への協力
    - ・JAVADA への協力（調整作業等）
    - ・JAVADA 委員会への協力（委員会開催:H23. 7. 29 於：東京・機械振興会館、H24. 3. 8 於：弘済会館）
    - ・企業調査への協力
    - ・その他 ねじ製造業の職業能力評価基準の検討・策定に関する作業
  - ねじ製造技能検定創設に向けた取組みへの活用促進
  - ねじ製造業の職業能力評価基準の策定後の活用方法・普及の検討
- (5) 平成24年度 本委員会の事業計画案の策定
  - ・ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の拡充（実技試験への対応）
  - ・ねじ製造技能検定（協会認定）の充実（検定委員及び受検者レベルの向上、広報活動）
  - ・ねじ製造業の職業能力評価基準の普及（説明会の開催など）
- (6) その他、資格制度に関する事業
  - ねじ製造技能検定創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の事務処理  
（日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、データ処理、受検（講）票送付等）
  - 技能検定創設に向け作成した工程表に従った作業（手続き／処理／取組み）
  - 技能検定創設に向け必要な諸規定の整備
  - 検定委員の増員等の体制拡充及び事務処理を行う事務局体制整備に関する作業

#### 4. 技術委員会事業

##### (1) 技術講習会及び工場見学会の開催

###### ○ 技術講習会

- ・技術講習会「ねじ製造技能検定創設に向けた講習会」開催（資格委員会事業）
- ・講演会（テーマ:建築構造物の接合部(締結部)の耐震性能について）開催  
(建築用ねじ部会事業)

###### ○ 工場見学

- ・韓国鉄鋼メーカー(POSCO)及び線材メーカー(SeAH Special Steel Co.,Ltd.)の工場見学  
(韓国 ソウル)
- ・ねじ製造企業工場見学(小ねじ部会及び特殊品ねじ部会合同部会事業)
- ・ねじ製造関連工場見学(ボルト部会及びナット部会合同部会事業)
- ・ねじ製造関連工場見学(関東支部事業)

##### (2) ねじに関する安全啓発事業

会報に、広く一般向けのねじの安全啓発記事「ねじの常識・非常識」を掲載

掲載号	テーマ
平成23年4月号	Q-ステンレス鋼製ねじは鋼製ねじより強いですか？
平成23年7月号	Q-電気めっきは、どんなねじにも出来ると思いませんか？

##### (3) 圧造技術スクールの開催(株旭サナックと共催)

平成23年度は、下記のとおり工程設計コース3回、金型設計コース2回の計5回開催し、計113名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第116回 23.6.21~23	工程設計コース	旭サナック(株)圧造技術センター 参加者 24名
第117回 23.9.14~16	金型設計コース	〃 参加者 24名
第118回 23.10.11~13	工程設計コース	〃 参加者 24名
第119回 24.2.15~17	工程設計コース	〃 参加者 23名
第120回 24.3.13~15	金型設計コース	〃 参加者 18名

##### (4) JIS/ISOに関する事業(ねじ研究協会との連携)

- ・JIS規格の附属書廃止に関する対応事業

JIS規格の内、六角ボルト(JIS B 1180)、六角ナット(JIS B 1181)の附属書廃止に伴い、来年度に日本ねじ研究協会に対する改正要望をするための要望内容案の検討・決定作業(JIS規格検討員会の設置・検討・要望案決定、要望準備)

##### (5) サポートインダストリー振興事業

- ものづくり高度化指針の改正・新指針策定作業

(委員会設置・検討、改正に係わる調査・パブリックコメント対応・周知・情報収集提供)

- 会員啓発のための作業

- ・委員会・部会等の諸会合における啓発作業
- ・企業訪問等による会員への啓発作業
- ・アンケート実施による会員の活用状況及びニーズの情報収集提供
- ・その他の広報活動による会員への啓発作業

- 公募関係事前案内等の会員への活用促進対応

- 商工組合中央金庫との提携ローンの周知

##### (6) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業

海外の化学物質管理規制、省エネ・温暖化対策等に関する情報の収集提供

##### (7) ねじ入門書の頒布、JISハンドブックの斡旋

##### (8) 技術振興事業に関するアンケートの実施

今後の事業計画及び活動方針策定のために全会員に対してアンケート実施・集計・報告

##### (9) 平成24年度本委員会の事業計画案の策定

##### (10) その他、技術振興事業

## 《サポインの会員の活用状況並びにニーズに関するアンケート結果概要》

- 1) 調査数 192 (正会員 153 (内 団体 5)、賛助会員 39)  
回答計 54 (内 賛助会員 8、団体 1) 回答率 28.1%
- 2) アンケート結果概要
  - (1) サポイン事業の周知状況
 

知っている	計 25 (5 賛助会員)
	比率: 25/54 (46.3%)、25/192 (13.0%)
知らない	計 29 (3 賛助会員)
	比率: 29/54 (53.7%)、29/192 (15.1%)
  - (2) サポイン事業への公募数 計 4 (内 3 採択) (1 賛助会員)
  - (3) 問題点や障害となっている点 (複数回答有)
 

研究開発を行う予定がない	計 10
共同研究の相談・提案相手がない	計 4
申請書作成のコスト大	計 12
研究開発の情報の秘密保持	計 5
研究開発の規模が小さい	計 18
その他	計 10
  - (4) サポートの要望先 (複数回答有)
 

社団法人日本ねじ工業協会	計 13
外部コンサルタント	計 8
研究機関・公的機関(大学・高専・地方自治体等)	計 16
その他	計 1

## 《技術振興事業に関するアンケート結果概要》

- 1) 送付先総数 192 (正会員 153 (内 5 団体)、賛助会員 39)  
回答社数 59 (正会員 50、賛助会員 9)、回答率 30.7%
- 2) 主なアンケート結果 (抜粋)
  - (1) 技術者養成について (主な希望講習対象技術) :  
ねじ用材料・表面処理の開発動向、品質管理技術、熱処理技術、ねじ金型・圧造・成形・転造等の技術、強度設計、要素技術 (締結の信頼性と低コスト化技術 等)、その他
  - (2) 主な工場見学先について (複数回答あり) :
 

○ ねじメーカー	計 44
○ 自動車メーカー等ユーザー	計 33
○ ねじ製造関連	計 26
イー機械メーカー	計 24
ハー治工具メーカー	計 19
ロー材料メーカー	計 19
  - (3) 社員研修用ビデオ作成の必要性について: 必要ー計 41 不要ー計 16
  - (4) その他技術者養成に関する事業について:  
FTS の拡充、技能検定制度創設に向けた事業と技術委員会事業との整理、実技講習の要望、技術交流機会増加要望、計測技術研修開催要望他、その他
  - (5) JIS/ISO に関する事業について: JIS 規格化及び改正対応への要望、規格改正の説明要望他、その他
  - (6) 海外ねじ製造技術等に関する調査について
 

○ 調査の必要性: 調査する必要ありー計 43	調査する必要なしー計 14
○ 主な関心技術: 表面処理前脱磷工程 (欧州)、中国・南アジアの量産技術、海外材料の動向、海外製品の品質、欧米の最新技術動向、アジア諸国の最新技術レベルと主要メーカーのレベル、海外自動車メーカーのねじに対する要求技術、その他	
○ 調査方法 : 視察団の派遣ー計 2 社、JETRO 等調査専門機関への委託ー計 9 社、その他ー14 社	
  - (7) 環境問題について: 欧州・米国・アジア・中国の環境規制及び各国における規制についてのまとめや概要整理の要望等、環境問題に積極的に取り組むべきとの意見多数
  - (8) 産学連携について: 進めるべきとの意見はあるものの技術選定・実際の進め方等細部になると難しい

## 5. 国際委員会事業

### (1) 2011年五地域ねじ協会交流大会への参加

平成23年9月25日～28日の4日間に亘り、韓国（ソウル）で開催された五地域ねじ協会交流大会に参加。交流会議では、司会者からの各地域代表者紹介・各地域のねじ業界の現況報告が行われた。それを受けて活発な質疑応答の後、「環境に配慮した持続可能なビジネス」への取組みに関する講演（講師：ポスコ 線材販売グループ長 丁基徹氏）並びに質疑応答が行われた。また、当協会より、2012年の交流大会（於：日本）では交流大会の意義をさらに高めるために内容の変更を提案・決定。

#### <大会概要>

- 日程：9月25日（日）～28日（水）
- 参加者：韓国ファスナー工業協同組合（主催者）（魚鎮善理事長） 38名  
 社団法人日本ねじ工業協会（竹中弘忠会長） 29名  
 中国機械通用零部件工業協会緊固件專業協会（馮金堯会長） 37名  
 台湾区螺絲工業同業公会（陳明昭理事長） 35名  
 香港螺絲業協会（陳兆威主席） 17名  
 合計 165名
- 大会構成：9/25 代表者会議  
 （竹中弘忠会長、大川克良国際委員長、大磯義和専務理事が出席）  
 9/26 交流会議（於：汝矣島「中小企業組合中央会」）  
 晩餐会（同上）  
 9/27 ねじ製造企業工場見学  
 永信金属工業株式会社（自動車用高張力ボルト他）  
 三進精工株式会社（各種ナット他）  
 9/28 展示会「KOREA METAL WEEK2011（韓国金属産業展）」観覧  
 （於：KINTEX）

※ 次回（2012年五地域ねじ協会交流大会）開催地は、日本 東京に決定

- (2) 2012年五地域ねじ協会交流大会（於 東京）の企画検討  
 （実行委員会設置、代表者会議・講演会講師・内容・懇親会検討、展示会主催者との渉外）
- (3) 韓国Fastener工業協同組合とのMOU締結
- (4) 自由貿易協定に関する情報収集
  - 日本及び諸外国間のEPA協定締結状況、運用状況及びTPP情報等の情報収集提供
  - TPP協定講演会の開催

開催日	時間・場所 参加者数	テーマ・講師・その他
23.12.8	15:00～16:30 大阪・ホテル日航大阪 参加者 57名	・テーマ：TPP協定と機械工業への影響 ・講師：梶野村総合研究所 コンサルティング事業本部 社会システムコンサルティング部 担当部長 高田 伸朗 氏

- (5) 海外ねじ関連企業工場見学
  - 韓国ねじ製造企業の工場見学（2社）（2011年五地域ねじ協会交流大会）
  - 台湾ねじ製造企業の工場見学（2社）（台湾国際ファスニング見本市観覧事業）  
 春日機械工業股份有限公司（ねじ製造機械メーカー）（台湾 高雄）  
 宗鉦企業股份有限公司（ナット類）（台湾 台南）
  - 韓国鉄鋼メーカー及び線材メーカーの工場見学（技術委員会事業）
  - 台湾のステンレスねじ市場視察団の派遣（ステンレスねじ部会事業）  
 ・台湾ねじ製造及び関連メーカーの工場見学（6社）
- (6) 海外展示会への観覧参加
  - ・「金属産業大典」（韓国）観覧
  - ・「台湾国際ファスニング見本市」（台湾）観覧
- (7) 中国経済及びねじ市場動向講演会（ステンレスねじ部会）
- (8) 原産地規則に係わる情報の収集提供
- (9) 国際関連情報の情報収集提供
- (10) その他、国際協調・競争力強化関係事業

＜参考＞ 日本における EPA/FTA の状況について		
シンガポール	2007年9月	発効 (改正議定書)
メキシコ	2011年9月	署名 (改正議定書)
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
フィリピン	2008年12月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
アセアン全体	2008年12月	発効
ベトナム	2009年10月	発効
スイス	2009年9月	発効
インド	2011年8月	発効
ペルー	2012年3月	発効
GCC(湾岸協力理事会)	加盟諸国 (サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマン)	
	2006年9月	交渉開始 (これまで2回交渉)
オーストラリア	2007年4月	交渉開始 (これまで15回交渉)
韓国	交渉再開に向けて努力中	
その他	カナダー共同研究修了、コロンビアー共同研究立上げ合意、 モンゴルー官民合同研究修了、EUースコーピング作業開始、 日中韓ー産官学共同研究中、 アセアン+6・アセアン+3ー政府間議論中、TPPー関係国と協議中	

## 6. 労務委員会事業

### (1) 会員企業の労務に関する調査

#### ○ 会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

労務委員会では、労務調査対象企業 42 社に対して以下の調査を行い、回答企業には集計結果を報告。

調査名	調査内容・回答社数
①平成 23 年度従業員賃金調査	調査内容 ・従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規学卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 13 社 (集計結果は製本して頒布)
②平成 23 年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 12 社
③平成 23 年夏期手当要求、妥結状況	回答 17 社

### (2) 「改訂 中小企業のための賃金・労務ガイドブック 2012 年版」頒布協力

### (3) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供

## II 部会事業

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会による台湾のステンレスねじ市場視察団の派遣 (田島祥一部会長)	23.6.1～6.4 参加者 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾区螺絲工業同業公會訪問 (義援金お礼)</li> <li>台湾ねじ製造企業 (4社)</li> <li>ねじ製造関連メーカー (2社)</li> <li>商社 (1社)</li> <li>計 6社の工場見学</li> </ul>
ステンレスねじ部会 (田島祥一部会長)	(第一回) 23.6.22 14:00～16:00 大阪・関西支部会議室 参加者 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
	(第二回) 23.9.14 16:00～17:45 静岡:ホテル センチュリー静岡 参加者 10名、来賓 2名 講演講師 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会開催に先立ち、経済産業省推進事業のサポイン高度化指針改正及び振興事業について説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 氏</li> <li>講演会 テーマ「最近の中国のねじ産業について」 講師 アジアプランニング㈱ 営業マネージャー 稲美智和 氏</li> <li>ステンレスねじ市況状況等(鋼材問題含む)について</li> <li>懇親会</li> </ul>
	(第三回) 23.12.14 17:00～18:00 大阪・北むら(心斎橋) 参加者 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>平成 24 年度事業計画について</li> <li>ステンレスねじ市況状況について</li> <li>懇親会</li> </ul>
	(第四回) 23.3.13 14:00～16:00 大阪・関西支部会議室 参加者 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会長交代について</li> <li>ステンレスねじの輸出入状況について</li> <li>平成 24 年度事業計画(案)について</li> <li>台湾のステンレスねじ市場動向について 講師:㈱三和鋳螺製作所 代表取締役社長 榎本宏志 氏</li> <li>ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	23.1.26 12:00～14:30 東京・東京會館 参加者 36名	<ul style="list-style-type: none"> <li>賀詞交歓会</li> </ul>
	24.3.15 17:00～19:00 名古屋・キャッスルプラザ 参加者 14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会事業報告</li> <li>各社の近況報告と情報交換</li> </ul>
ボルト部会 (相澤正己部会長) ナット部会 (佐藤義則部会長)	23.11.29 13:30～16:30 参加者 35名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2部会共同開催)</li> <li>工場見学 見学先: ボッシュ株式会社 寄居工場 (埼玉県寄居) 自動車部品メーカー (ディーゼル及びガソリン噴射装置部品)</li> <li>講演会 テーマ「グローバル化を生き残る為のリーダー育成」 講 師 ボッシュ株式会社 寄居工場長 石澤 義和 氏</li> </ul>
小ねじ部会 (望月正紀部会長) 特殊品ねじ部会 (松田英成部会長)	24.3.6 13:30～18:30 部会: 森岡産業㈱ 懇親会: 桑名シティホテル 参加者 30名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2部会共同開催)</li> <li>合同部会 13:30～14:30</li> <li>工場見学 14:30～16:30 見学先: 森岡産業株式会社 (三重県三重郡川越町) (協会会員) (特殊品ねじ部会員) (ボルト、自動車・電機関連の精密部品)</li> <li>懇親会 17:00～19:00</li> </ul>
建築用ねじ部会 (平田彰三郎部会長)	23.6.28 15:50～17:00 大阪・ホテル日航大阪 参加者 51名	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会 テーマ: 建築構築物の接合部 (締結部) の耐震性能について 講 師: 大阪大学接合価額研究所 機能評価研究部門 信頼性設計学分野 工学博士 助教授 崎野 良比呂 先生</li> </ul>

### Ⅲ 組織強化事業

- (1) 魅力ある協会運営のための事業推進
  - 協会の財政の健全化、魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、6委員会・7部会（上記参照）活動の活性化
  - 会員増強の推進
  - 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業
- (2) 公益法人関連法及び制度改正への対応
  - 説明会出席等の情報収集
  - 一般社団法人への移行に向けた作業
    - ・ 公益目的支出計画（案）の検討・策定
    - ・ 新法人に必要な新定款案等の検討・整備
  - 公益目的支出計画における事業計画案・予算案の検討・策定
  - 一般社団法人への移行に向けた上記作業の理事会上程・承認
  - その他、認可申請に向けた準備作業
- (3) 諸規程整備準備
- (4) 政府経済対策等への対応
  - 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
  - 円高・大震災等に対する経済対策情報提供
    - ・ 景気対応緊急保証の業種指定申請の対応
    - ・ 政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
  - 東日本大震災、タイにおける洪水等自然災害に関する対応（政府支援策等の情報提供）
  - 電力需給対策・原子力発電対策への対応（政府支援策等の情報提供）
- (5) 取引の適正化に係わる事業
  - 政府の下請取引適正化対策の周知・対応  
（下請適正取引ガイドラインの周知、活用状況等の情報収集、その他、取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供）
  - 下請関係委員会（全国中小企業団体中央会 委員会）への協力
  - 部会・ねじ商工連盟総会等における原材料関係等に関する情報交換
- (6) 日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化
- (7) その他
  - 団体グループ保険制度、国内・輸出向け団体P L保険制度加入拡充の促進のため会員宛に団体保険制度の案内パンフレット送付等の情報提供
  - 経済産業省等の行政省庁との情報交換（会員企業への企業訪問への対応、情報交換）



### 第3章 総会、理事会、懇談会・懇親会等

#### 1. 総会、理事会

##### (1) 総会

第51回通常総会は、5月26日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第51回 通常総会	23.5.26 15:00～16:30 東京・浜松町 東京會館 出席 148名 (内委任状 79名)	第1号議案 平成22年度事業報告書(案)並びに平成22年度決算報告書(案)承認に関する件 第2号議案 平成23年度事業計画書(案)並びに平成23年度収支予算書(案)承認に関する件 第3号議案 平成23年度会費規程(案)承認に関する件 第4号議案 任期満了に伴う役員改選の件 第5号議案 新公益法人制度への対応について  総会終了後懇親会 来賓挨拶 経済産業省製造産業局産業機械課長 藤木 俊光 様

##### (2) 理事会

平成23年度は5回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
4月理事会	23.4.21 14:00～15:20 大阪・ ホテル日航大阪 出席 57名 (内委任状 25名)	第1号議案 総会付議案件について ①平成22年度事業報告書(案)並びに平成22年度決算報告書(案)について ②平成23年度事業計画書(案)並びに平成23年度収支予算書(案)について ③平成23年度会費規程(案)について ④次期役員候補等(案)について  ○ 理事会開催に先立ち、台湾区螺絲工業同業公会理事長 陳明昭 氏より、同同業公会が会員より募った東日本大震災の被災者への義援金 4,600万円の目録が、竹中弘忠会長へ直接手渡された。また目録の受渡に際して陳理事長並びに竹中会長それぞれより挨拶があった。  ○ 東日本大震災復興支援に関する施策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課係長伊藤 昌洋 氏  ○ 理事会終了後、寄贈された義援金の受贈先、受贈方法等について意見交換を行なった結果、竹中会長より、理事会における意見を参考にして政策委員会(幹部会)において義援金の受贈先、配分方法等について検討を行なう旨の説明があった。
会長、副会長 及び専務理事 等互選のため の理事会	23.5.26 16:30～16:40 東京・浜松町 東京會館 出席 57名 (内委任状 6名)	第1号議案 会長、副会長及び専務理事等決定の件 第2号議案 副会長の会長代行順序決定の件 第3号議案 関東、中部及び関西支部長決定の件 第4号議案 顧問、相談役、参与委嘱、委員長及び部会長の件 第5号議案 (社)日本ねじ工業協会推薦の日本ねじ研究協会理事候補(案)
7月理事会	開催中止	23.7.14 予定(於:名古屋)されていた7月理事会は取急ぎの審議事項がないため遠方の方へ配慮して中止。理事会終了後予定していた、中部支部懇談会・懇親会は7.13に変更。
9月理事会	23.9.15 14:00～15:30 東京・ 機械振興会館 出席 58名 (内委任状 16名)	第1号議案 平成23年度資格委員会事業について 第2号議案 技術委員会事業について 第3号議案 来年の五地域ねじ協会交流大会について 報告事項 未来開発・パブリシティ委員会事業について  ○理事会終了後 政府の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課係長 國峯 彰太 氏

12月理事会	23.12.8 14:00～15:00 大阪・ ホテル日航大阪 出席 58 名 (内委任状 27 名)	第1号議案 新規入会申請について 第2号議案 内閣府への新法人移行申請に伴う新定款(案)について 第3号議案 内閣府への新法人移行申請に伴う 公益目的支出計画(案)について 第4号議案 平成24年度行事予定(案)について 第5号議案 資格制度創設基本構想、 資格試験 教材の著作権委譲について  ○理事会開催に先立ち、政府の推進している 政策(サポイン技術指針改正の件含む)等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 氏
3月理事会	24.3.22 14:00～15:10 東京・ 機械振興会館 出席 53 名 (内委任状 18 名)	第1号議案 会員の入会申請案及び退会について 第2号議案 資格試験教材著作権委譲に伴う対価の 支払い方法変更案について 第3号議案 副会長互選案について 第4号議案 委員長及び部会長後任候補案について 第5号議案 会報のIT化について 第6号議案 ファスナーダイアリーの製作について 第7号議案 総会付議案件について ①平成23年度事業報告案並びに決算報告見込案について ②平成24年度事業計画案並びに収支予算案について ③平成24年度会費規程案について ④理事の補欠選任案について

## 2. 懇談会・懇親会等

懇談会・懇親会等の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	23.5.26 東京・浜松町 東京會館	16:40～18:30 参加者 97 名
関西支部懇談会・懇親会 (田島祥一支部長)	23.6.28 大阪・ホテル日航大阪	懇談会 15:00～15:50 参加者 47 名 講演会 15:50～17:00 参加者 51 名 懇親会 17:00～18:30 参加者 46 名
中部支部懇談会・懇親会 (相澤正己支部長)	23.7.14 名古屋・キャッスルプラザ	懇談会 16:00～16:30 参加者 24 名 懇親会 16:30～18:30 参加者 23 名
忘年会 (12月理事会)	23.12.8 大阪・ホテル日航大阪	講演会 15:00～16:30 参加者 57 名 情報交換会 16:30～17:30 参加者 53 名 忘年会 17:30～19:30 参加者 56 名
関東支部懇談会 <工場見学・忘年会> (椿省一郎支部長)	23.12.16 見学先：新明和工業(株) 寒川工場	懇談会(工場見学) 14:00～16:00 忘年会 16:30～18:00 参加者 22 名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	24.1.19 東京・浜松町 東京會館	15:00～17:00 参加者 182 名
中部支部懇親会 (相澤正己支部長)	24.2.24 名古屋・キャッスルプラザ	17:00～18:30 参加者 31 名

### 3. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会	23.8.2 12:00～14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者数 ねじ協会側 15名 ねじ商連側 16名 報道 6名	第1号議案 平成22年度収支決算報告並びに 剰余金処分案承認に関する件 第2号議案 平成23年度収支予算案承認に関する件 第3号議案 任期満了に伴う正副会長改選に関する件 (総会終了後) ・ねじ商連側から代表4名から地区別現況並びに見通し報告 ・ねじ協会側より代表3名からそれぞれ資格委員会事業報告、未来開発・パブリシティ事業報告、現況並びに見通し報告

【平成23年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員 (内団体)	153 (5)	1 (0)	2 (0)	152 (5)
賛助会員	39	1	0	40
合計	192	2	2	192(5)

平成23年度入会社数

正会員1社 賛助会員1社

正会員  
賛助会員

株式会社下村製作所  
マツシロツール株式会社

(関東支部)

平成23年度退会社数

正会員2社

正会員

アルプススクリー株式会社  
瀧上精機工業株式会社

(関東支部)  
(中部支部)

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成16年度(04)	1(0)	4(0)	177(7)	209(7)
	0	0	32	
平成17年度(05)	3(0)	7(0)	173(7)	205(7)
	0	0	32	
平成18年度(06)	1(0)	6(1)	168(6)	200(6)
	0	0	32	
平成19年度(07)	2(0)	8(0)	162(6)	195(6)
	2	1	33	
平成20年度(08)	1(0)	10(0)	153(6)	184(6)
	0	2	31	
平成21年度(09)	9(0)	7(1)	155(5)	190(5)
	4	0	35	
平成22年度(10)	2(0)	4(0)	153(5)	192(5)
	5	1	39	

上段：正会員（内団体数）

下段：賛助会員

## 【参考 1】第 51 回通常総会議事録

1. 日 時  
平成 23 年 5 月 26 日（木曜日） 15:00 ～ 16:30
2. 場 所  
東京都港区浜松町 2-4-1  
浜松町世界貿易センタービル 3 階 WTC コンファレンスセンター「ROOM A」
3. 出席者  
正会員総数 153 名  
出席正会員数 148 名（うち委任状による出席者 79 名）
4. 議 題  
第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書(案)並びに平成 22 年度決算報告書(案)承認に関する件  
第 2 号議案 平成 23 年度事業計画書(案)並びに平成 23 年度収支予算書(案)承認に関する件  
第 3 号議案 平成 23 年度会費規程(案)承認に関する件  
第 4 号議案 任期満了に伴う役員改選の件  
第 5 号議案 その他（新公益法人制度への対応について）
5. 議 事  
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第 24 条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし定足数に達している旨報告。  
定款第 23 条（総会の議長は、会長があたる）の規定により、竹中弘忠会長が議長となった。議事に入る前に経済産業省 製造産業局 産業機械課 金澤 信課長補佐より、ご挨拶及び政府による中小企業への緊急施策等のご紹介があった。続いて議長が本日の議事録署名人に勝谷辰三副会長、長谷川款一副会長及び嶋田亘副会長の 3 名を指名して議事に入った。  
  
第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書(案)並びに平成 22 年度決算報告書(案)承認に関する件  
  
専務理事より、資料 1-1「平成 22 年度事業報告書(案)」及び資料 1-2「平成 22 年度決算報告書(案)」に基づき説明。  
続いて監事を代表して田中良典監事が、「去る 4 月 18 日に、監事 2 名が社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの事業年度における財産の状況並びに理事の業務執行状況の監査を行い、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令また定款に違反していないと認める」旨報告。  
議長より両案を議場に諮った結果、異議なく承認された。  
  
第 2 号議案 平成 23 年度事業計画書(案)並びに平成 23 年度収支予算書(案)承認に関する件  
  
専務理事が、資料 2-1「平成 23 年度事業計画書(案)」、資料 2-2「平成 23 年度収支予算書(案)」について説明を行った。  
議長より第 2 号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

### 第3号議案 平成23年度会費規程（案）承認に関する件

議長より資料3「平成23年度会費規程（案）」に基づき、今年度の会費規程は昨年同様変更を行わないとの説明を行った。しかしながら平成20年12月の理事会で、新会費規程案の承認を得て、改正することとなっていたが、景気の著しい悪化によりその後凍結していた。適正な会費金額を定めるため、一度承認された新会費規程を今一度見直し、早ければ来期にも施行したいとの説明を行った。

議長より本案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

### 第4号議案 任期満了に伴う役員改選の件

議長より、資料4「任期満了に伴う役員改選の件」に基づき、次期役員候補者は役員選考委員会方式で選任することが理事会で承認されており、この手順に則って作成された役員候補（案）が別添の資料であることを説明。さらに、長谷川役員選考委員長より選考経過について説明があった。

議長より第4号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

### 第5号議案 新公益法人制度への対応について

平成20年12月1日より公益法人制度関連の法律が施行されており、この法律により従来の財団法人や社団法人等の公益法人は、特例民法法人という位置づけになり、平成25年11月末日までに新しい法人へ移行しなくてはならない。移行する法人には2種類の選択肢があるが、いずれの法人へ移行するにも、内閣府公益認定委員会の認定または認可が必要となる。2つのうちの公益一般社団法人は不特定かつ多数の者の利益増進につながる事業を行うことが必須である。一方もうひとつの選択肢である一般社団法人は、所管官庁の管理下からはずれ、事業内容が自由意思で決定でき、非営利が徹底されている場合は、収益事業のみしか課税されないメリットがある。

従って当協会の場合は、一般社団法人へ移行することが望ましいと考えると専務理事が説明を行った。

議長より第5号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

この後今期で勇退する役員を報告し、代表して勝谷副会長へ竹中会長より感謝状と記念品を贈呈し、勝谷副会長より謝辞があった。

次に台湾区螺絲業同業公會から東日本大震災被災者への義援金の処遇について特に被害の大きい3つの地方自治体（岩手県、宮城県及び福島県）に寄贈し、当協会会員で甚大な被害を受けた会員に一部を受贈すると議長（会長）より報告があった。

議長は、以上をもって第51回通常総会の議事をすべて終了した旨を述べ、16時30分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成 23 年 5 月 26 日

社団法人 日本ねじ工業協会

議 長	会 長	竹 中	弘 忠
署名者	副会長	勝 谷	辰 三
署名者	副会長	長谷川	款 一
署名者	副会長	嶋 田	亘